

社会資本総合整備計画書

(愛知県・安城市)

平成29年3月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (低炭素まちづくり計画 活力創出基盤整備)

平成 29 年 3 月 30 日

計画の名称	安心・快適な、賑わいあふれるエコみち“あんじょう”							重点配分対象の該当	○								
計画の期間	平成29年度 ~ 平成31年度 (3年間)			交付対象	安城市												
計画の目標	低炭素まちづくり計画に基づき、市街化区域内の都市機能を集約すべき区域で「安心で快適な、コンパクトシティ型都市基盤の整備」や「コンパクトで賑わいあふれる都市・地域拠点の形成」を実施し、低炭素化を通じた「安心・快適な、賑わいあふれる」まちの拠点を形成する。また拠点を発信源に、市全体で低炭素化を促進させ、持続可能な「安心・快適な、賑わいあふれるエコみち“あんじょう”」の形成を目指す。																
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心生活エリアカバー率 (%) : 市街地整備事業施行面積のうち、老朽した密集市街地の解消など都市基盤の整備により、安心して暮らすことができる生活エリアを83% (H27) から88% (H31)に拡大 コミュニティバス利用者数 (人/年) : 都市機能の集約配置による都市拠点の強化により、公共交通機関を利用した都市・地域拠点への来訪者数を98,400人(H27) から117,500人 (H31)に増加 																
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考								
						当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)									
■災害等に対して備えのできた安全・安心生活エリア (整備された幅員6m以上の道路の道路端から一定距離 (概ね幹線道路: 50m、区画道路: 30m) のエリアを調査し、拠点的市街地における市街地整備事業施行面積の合計に占める割合 (%) ※都市基盤の整備効果 安全・安心生活エリアカバー率 (%) = (安全・安心生活エリア) / (市街地整備事業施行面積)						83%	-	88%									
■コミュニティバス利用者数 (人/年) ※賑わい・人の集積 都市拠点 (JR安城駅周辺、地域拠点 (名鉄桜井駅) 内の主要バス停における利用者数 (人/年)						98,400 人/年	-	117,500 人/年									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	6,424 百万円	A	6,424 百万円	B	-	C	百万円	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
2-A-1	街路	一般	安城市	直接	安城市	安城桜井駅周辺地区 ((都) 安城蒲郡線ほか7路線)	区画整理 A=93.8ha	安城市						3,068	-	-	
2-A-2	街路	一般	安城市	直接	安城市	安城南明治第一地区 ((都) 安城碧南線ほか4路線)	区画整理 A=16.7ha	安城市						3,356	-	-	
合計													6,424				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
合計													0				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H29	H30	H31	H32	H33			
合計													0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

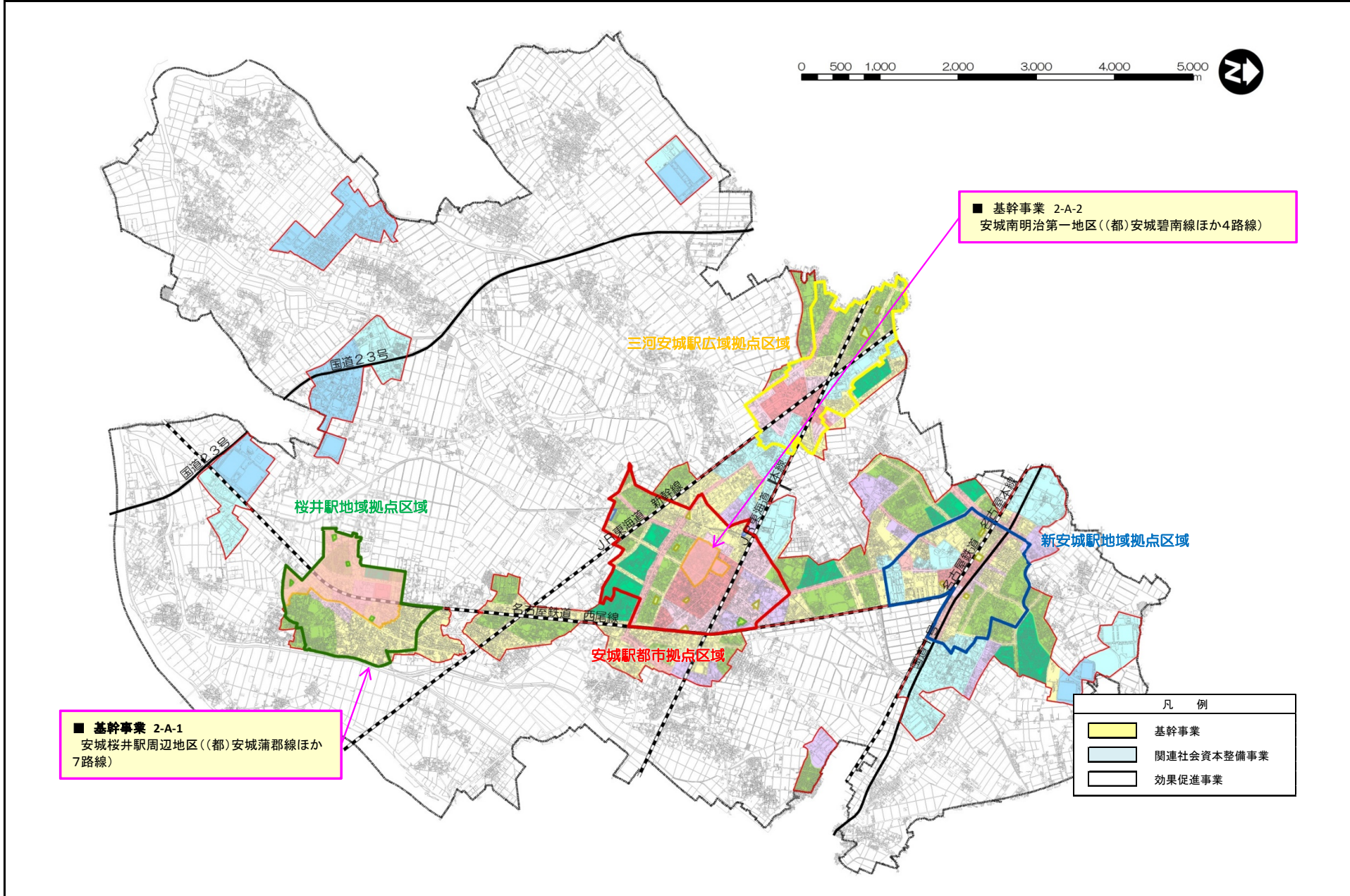
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31
配分額 (a)	179.566	541.084	484.000
計画別流用 増△減額 (b)	520.584	30.149	0
交付額 (c=a+b)	700.150	571.133	484.000
前年度からの繰越額 (d)	0	160.492	104.889
支払済額 (e)	539.658	626.736	491.066
翌年度繰越額 (f)	160.492	104.889	97.823
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場 合その理由	-	-	-

※ 平成29年度以降の各年度の決算額を記載。

計画の名称	安心・快適な、賑わいあふれるエコみち“あんじょう”		
計画の期間	平成29年度 ～ 平成31年度 (3年間)	交付対象	安城市



■ 基幹事業 2-A-1
 安城桜井駅周辺地区((都)安城蒲郡線ほか
 7路線)

■ 基幹事業 2-A-2
 安城南明治第一地区((都)安城碧南線ほか4路線)

凡 例	
	基幹事業
	関連社会資本整備事業
	効果促進事業

社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称: 安心・快適な、賑わいあふれるエコみち“あんじょう”

事業主体名: 安城市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○